

1 単元名 作品の世界を深く読み味わおう～賢治の世界展 思いや生き方を考えよう～
 (学習材名 「やまなし」 光村図書6年)

2 単元構想表

児童の言語活動の既習経験 (文学的な文章の解釈に関する指導事項)		
既習の学習材名	知識・技能の習得状況	言語活動
大造じいさんとガン	優れた表現、会話や行動から登場人物の心情や性格を想像し、朗読で表現した。(ア)(エ)	自分の気に入った場面を朗読し、友達の朗読について感想を発表すること。
わらぐつの中の神様	登場人物の人物像や相互関係、構成、表現などの観点を読み、自分なりの考えを深めたり広げたりしようとした。(エ)(オ)	杉みき子さんの作品の魅力をショーウィンドーで紹介すること。
カレーライス	主人公の視点で書かれた文章を、相互関係・心情変化について自分の体験と重ね合わせて読み、交流を通して自分の考えを深めたり広げたりしようとした。(エ)(オ)	登場人物の心情変化について自分の体験と重ね合わせて考え、感想をまとめて交流すること。
個人差はあるものの、行動や会話から人物像や相互関係をとらえることができるようになってきた。また、朗読場面を選ぶ際、心情が変化した場面やそのきっかけになる場面を選択し、意欲的に朗読に取り組むことができた。「カレーライス」では、初めて、象徴的イメージを考えた。本単元では、その象徴的イメージをもとに賢治の生き方を考えさせていきたい。		
単元を通して身に付けたい力		評価規準
領域：C読むこと ○目的に応じて、本や文章を比べて読むなど、効果的な読み方を工夫すること。(イ) ◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、自分の考えをまとめること。(エ) ◎本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。(オ) ・比べたり重ねたりして読むことで、共通して出てくる作者の思いや生き方について考え、自分のものの見方・考え方を広げようとする力。		○場面を比べたり、資料を読んだりすることで、作品の特徴や作者の思いをとらえている。(イ) ◎場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。(エ) ◎賢治の作品を比べたり重ねたりして読み、賢治の思いや生き方を自分なりに考え、友達との交流を通して自分の考えを広げようとしている。(オ)
学習材の特徴		
中心学習材名「やまなし」(光村図書6年) 宮沢賢治の深い思想性をもつ作品であるといわれる作品のひとつである。「生と死」「光と影」「奪うものと与えるもの」といった観念が対比的に表されている。構成は額縁構造、擬声語・擬態語、造語、色彩表現、比喩など、賢治独自の言葉の響きの魅力にあふれている作品でもある。		補助学習材名 「イーハトーヴの夢」(資料、光村図書) 「グスコブドリの伝記」 「セロひきのゴーシュ」 「よだかの星」など宮沢賢治の作品
単元を貫く言語活動の設定要素と具体的能力		
単元名 作品の世界を深く読み味わおう～賢治の世界展 思いや生き方を考えよう～ 言語活動：宮沢賢治の作品や資料「イーハトーヴの夢」を読み、賢治の思いや生き方について自分の考えをまとめ、交流する活動。 特徴：「やまなし」の二つの幻灯を比べて読んだり、他の宮沢賢治の作品や資料「イーハトーヴの夢」とを重ねて読んだりすることで、作品にこめられた賢治の思いや生き方についてとらえたりすることができる。また、それをリーフレットにまとめることで、自分の考えを明確に表すことができる。さらに友だちと交流することで、ものの見方・考え方を広げることができる。 相手：学級の友だち 目的：宮沢賢治の作品を比較したり重ねたりして、宮沢賢治の思いや生き方について、自分の考えをまとめる。 思い：宮沢賢治の作品をたくさん読んでみたい。宮沢賢治の思いや生き方はどんなものだろうか、作品を通して考えたい。友だちはどのように考えたのか知りたい。 能力：叙述に着目して場面の様子を読む力 目的に応じて、いろいろな文章を選んで読む力 友だちの考えとの共通点・相違点を見つけ、自分の考えをまとめる力		
思考力育成の手立て		
《考えをもたせるための工夫》 考える技能を活用する ・比較～「五月」と「十二月」との比較 ・推論～「やまなし」、賢治の他の作品と「イーハトーヴの夢」とを重ねて共通点を見つけ、理解を深める。 モデル提示 (第1・2・5・6時) ・リーフレットの完成形を提示し、見通しをもたせる。 課題解決のために読みの観点を示す ・賢治の行動や言葉 作品 (第2時) ・谷川の様子 かにの会話や様子 出来事 (第3・4時)	《考えを表現させるための工夫》 ワークシートの工夫 ・賢治の思いや生き方がとらえられるようにするために、多面的に書くことができるようなシート(行動や言葉 それから考えられる思い・生き方) (第2時) ・イメージ画(読み取ったことを言葉・絵・図で表現) (第3・4時) ・リーフレット(「やまなし」と賢治の他の作品とを重ね、作品世界が分かるようなもの) (第1・2・5・6時) 交流(場) ・選書によるグループ(3～4人)	《学びの価値づけ》 評価(ふりかえり) ・単元の導入でつけたい力の提示 【付けたい力】 場面を比べて違いをとらえる力 比べたり重ねたりして読み、賢治の思いや生き方を考える力 友だちとの共通点・相違点を見つけ、自分のものの見方・考え方を広げようとする力 単元を進める中で取り上げていき、単元の最後に学習の価値付けをすることができるようにする。

3 単元の指導計画（7時間）

★本校研究の手立て

学習過程	学習活動	評価
<p>第一次 見通す</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">単元の学習の見通しをもとう。</p> <p>○ 教材文を通読し、学習の見通しをもち、学習計画を立てる。 ・ 単元の学習の見通しを具体的にもたせ、付けたい力を共有する。 単元の見通し…「やまなし」を読んだり、賢治の作品の並行読書 をしたりして、賢治の思いや生き方を考え、リー フレットにまとめて交流する。 付けたい力…場面を比べて違いをとらえる力 比べたり重ねたりして読み、賢治の思いや生き方を 考える力 友だちとの共通点・相違点を見つけ、自分のものの 見方・考え方を広げようとする力</p> <p>・ 構成をつかむ。（書き出しと最後の文、二枚の幻灯） ○ 新出漢字の確認をする。 ○ 並行読書に取り組む。 ★単元の流れの見通しをもたせるために学習計画を立て、付けたい 力・相手意識・目的意識を明確にさせる。（動機付けの工夫）</p>	<p>・ 学習の見通しをもち、 これからの学習に意 欲をもっている。 【関】 発言・観察</p>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の思いや生き方を知ろう。</p> <p>○ 賢治について知っていることを発表する。 ・ 本の名前、出身など、知っていることを発表し合う。 ○ 文章を読み、賢治の思いや生き方について考える。 ・ 賢治の行動や言葉から、思いや生き方についてとらえる。 ・ 賢治の作品から読み取ることができる賢治の世界観にふれる。 ・ 賢治の多様な面を書くことができるよう、ワークシートを使ってま とめる。「出来事や賢治の言動・賢治の思いや生き方」について記述す る。 ★自分の生活経験や既習の知識と重ねて、賢治について興味をもたせる。 文章から賢治を多面的に見る。 （考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・多面的に見る） ★賢治の思いや生き方をとらえるために、ワークシートを活用する。 （考えを表現させるための工夫・ワークシートの活用）</p>	<p>・ 「イーハトーヴの夢」 を読み、賢治の思い や生き方を知り、感 想をもっている。 【読エ】 発言・ノート</p>
<p>第二次 深める・まとめる</p>	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">表現に着目して「五月」の谷川の情景を読もう。</p> <p>○ 「五月」の谷川の情景を、表現に着目して想像して読む。 ・ 情景を想像するために、谷川の様子・かへの会話や様子・出来事（上 から来たもの）の観点を示し、イメージ画にまとめる。 ・ イメージ画にまとめたものから、「五月」の谷川の情景を想像する。 ・ 「十二月」と比べるために、「五月は○○な世界」とまとめる。 ★読みの観点の提示、ワークシートの活用を通して、「五月」の谷川の 情景を読み取らせる。 （考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・比較） （考えを表現させるための工夫・ワークシートの活用）</p>	<p>・ 様子を表す言葉や出 来事に着目しながら 「五月」の幻灯を読 んで谷川の情景を想 像している。 【読エ】 発言・シート</p>

第二次 深める ・ まとめる	4	<p>表現に着目して「十二月」の谷川の情景を読もう。</p> <p>○「十二月」の谷川の情景を、表現に着目して想像して読む。 ・情景を想像するために、谷川の様子・かへの会話や様子・出来事（上から来たもの）の観点を示し、イメージ画にまとめる。 ・イメージ画にまとめたものから、「十二月」の谷川の情景を想像する。 ・「五月」と比べるために、「十二月は〇〇な世界」とまとめる。 ★読みの観点の提示、ワークシートの活用を通して、「五月」の谷川の情景を読み取らせる。 （考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・比較） （考えを表現させるための工夫・ワークシートの工夫）</p>	<p>・様子を表す言葉や出来事に着目しながら「十二月」の幻灯を読んで谷川の情景を想像している。 【読エ】 発言・シート</p>
	5 本時	<p>「やまなし」の二つの幻灯を比べたり、「イーハトーヴの夢」と重ねたりして、賢治の思いや生き方をリーフレットにまとめよう。</p> <p>○前時までの読み取ったことをもとに、二つの幻灯について比べ、作品から感じられる賢治の思いや生き方を考える。 ・象徴しているもの、「五月」の「かわせみ」と「十二月」の「やまなし」から、想像した世界を確かめる。 ・題名を「やまなし」としているのはなぜかを考える。 ・「イーハトーヴの夢」と重ねて、賢治の思いや生き方について考える。 ○考えたことをもとに、「やまなし」をリーフレットにまとめる。 ・「やまなし」から感じた賢治の思いや生き方をまとめる。 ★「やまなし」と「イーハトーヴの夢」を重ねて、賢治の思いや生き方について考えたことを表現させる。 （考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・推論）</p>	<p>・二つの幻灯を比べて読んだり、「イーハトーヴの夢」を重ねて読んだりすることで、共通していることを考え、賢治の思いや生き方についてまとめている。 【読イ】 発言・リーフレット</p>
第三次 ひろげる	6	<p>他の作品と「イーハトーヴの夢」と重ねて読み、賢治の思いや生き方をリーフレットにまとめよう。</p> <p>○並行読書した本の中から作品を選び、リーフレットにまとめる。 ・作品から感じた賢治の思いや生き方をまとめる。 ・「やまなし」や「イーハトーヴの夢」と重ねながら、選んだ作品についてまとめる。 ※前時の学習を活かす。 ★選んだ作品と「やまなし」「イーハトーヴの夢」を重ねて、賢治の思いや生き方についてまとめさせる。 （考えをもたせるための工夫・考える技能の活用・推論）</p>	<p>・賢治の他の作品と「やまなし」や「イーハトーヴの夢」を重ねて読むことで、賢治の思いや生き方について考え、まとめている。 【読イ】 リーフレット</p>
	7	<p>「リーフレット」を友だちと読み合い、賢治の思いや生き方を交流しよう。</p> <p>○まとめたリーフレットを使って、賢治の思いや生き方について考えたことを交流する。 ・選書によって、グループ分けをする。（3～4人） ・グループで交流し、いろいろな人のものの考え方に触れさせる。 ・友だちとの共通点や相違点を見つけ、賢治の思いや生き方について自分が感じたことや考えたことを伝え合う。 ○本単元の学び（学んだこと、付けたい力など）を振り返る。 ★グループで交流する等、学習形態を工夫することで、考えを広げることができるようにする。（考えを表現させるための工夫・交流） ★単元を通して、学びの価値や付けたい力について振り返り、自分の学びが実感できるようにする。（学びの価値付け）</p>	<p>・賢治の思いや生き方を友達と交流し、自分のものの見方・考え方を広げようとしている。 【読オ】 観察・発言・ふりかえり</p>

4 本時の指導（5／7時間）

(1) 目標

二つの幻灯を比べて読んだり、「やまなし」と「イーハトーヴの夢」と重ねて読んだりすることで、「やまなし」から伝わる賢治の思いや生き方について考えることができる。

(2) 展開

段階	学習活動	形態	学習内容	評価
導入 3分	1 前時までの学習を想起する。 2 本時の課題・学習の流れを確認する。 「やまなし」の二つの幻灯を比べたり、「イーハトーヴの夢」と重ねたりして、賢治の思いや生き方をリーフレットにまとめよう。	全 全	○前時まで、「五月」と「十二月」の谷川の情景を想像したことを確認する。 ○本時の学習の流れの確認し、学習の見通しをもつ。	・本時の学習課題をつかんでいる。
展開 36分	3 二つの幻灯について比べ、作品から感じられる賢治の生き方や考え方を考える。 (1)「五月」と「十二月」を通して、想像した世界を確かめる。 (2) 題名を「やまなし」としているのはなぜかを考える。 (3)「やまなし」と「イーハトーヴの夢」と重ねて、賢治の思いや生き方を考える。 (4)「やまなし」から伝わる賢治の思いや生き方をまとめる。	全 個全 個全 個全	○象徴するもの（かわせみ・やまなし）が与えたものを、前時までのワークシートを使って確かめる。 ○二つの幻灯を比べることで、なぜ「やまなし」という題名にしたのかを考える。 ・自然の厳しさよりも、自然が豊かさを与えてくれることを教えたかったから。 ・「やまなし」が、だれかのために役立っていることを教えたかったから。 ○「やまなし」と「イーハトーヴの夢」と重ねて、共通して出てくる賢治の思いや生き方を考える。 ・発話例を参考に考える。 「やまなし」では、○○を伝えています。「イーハトーヴの夢」からは、賢治の○○な生き方（思い）が分かります。どちらも、○○ということが共通しています（似ています）。 ○賢治の思いや生き方をリーフレットにまとめる。 ・賢治が「やまなし」で伝えたいこと、そこから賢治のどんな思いや生き方が分かるかまとめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈評価〉 二つの幻灯を比べて読んだり、「イーハトーヴの夢」を重ねて読んだりすることで、共通していることを考え、賢治の思いや生き方についてまとめている。 【読】発言・シート</p> </div>
終末 6分	4 本時を振り返る。 5 次時の予告	個 全	○本時の学習を振り返り、本時の学びを実感する。 ○次時は、並行読書の中から賢治の本を選び、思いや生き方をリーフレットにまとめることを確認する。	・本時の課題、付けた力などを振り返り、学んだこと、学びのよさを実感している。